

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年 8 月 2 日
発信課	文化振興課
担当者	諸戸
連絡先	電 話 内線 8 - 6 3 2 4
	F A X
	E-mail

分 類	イ <b>ベ</b> ント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	9 月 2 8 日(土)
発表項目 (行事名)	文学講座
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>第 1 回文学講座</p> <p>趣 旨: 市民に広く文学に親しむ機会を提供することを目的として、旭川工業高等専門学校教授、石本裕之氏をお招きし、文学講座を開催いたします。</p> <p>演 題 井上靖小説『花壇』の位置づけ</p> <p>日 時 令和元年 9 月 2 8 日(土) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時まで</p> <p>場 所 井上靖記念館ラウンジ(旭川市春光 5 条 7 丁目)</p> <p>定 員 5 0 名(事前予約が必要)</p> <p>参加料 無料</p> <p>申込み 電話(0166-51-1188) または F A X (0166-52-1740)</p>
添付資料	<p><b>有</b> ・ 無 チラシ</p> <p>(有・無のいずれかを囲むこと。)</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に当たってのお願い	<p>その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。</p> <p>電話 51-1188 FAX 52-1740</p> <p>担当 上田</p>
備 考	



演題 井上靖小説『花壇』の

位置づけ

「花壇」は「秋田魁新報・北国新聞・中国新聞」に昭和50年7月1日から昭和51年2月10日まで211回連載された。

「人生の晩年を迎えた一実業家の内省を通して、人間の生きることの意味を問いかける、文学の香り高い名作。」(角川文庫より)

2019年 9月28日(土)

場 所：井上靖記念館ラウンジ

時 間：午後1時30分より3時まで

講 師：国立旭川工業高等専門学校教授 石本 裕之 氏

参加料：無 料 定 員：50人

申 込：電話で当館まで

井上靖記念館

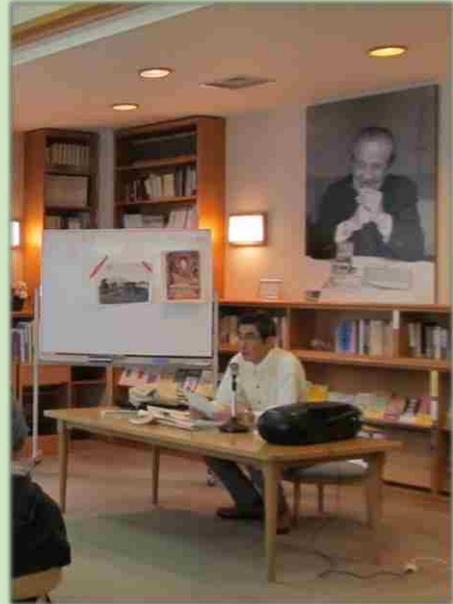
指定管理者 特定非営利活動法人 旭川文学資料友の会  
〒070-0875 旭川市春光5条7丁目

Tel 0166-51-1188 / Fax 0166-52-1740

講師プロフィール》

## 石本裕之

Hiroyuki Ishimoto



国立旭川工業高等専門学校教授。公益財団法人北海道文学館評議員。

昭和 33(1958)年、北海道札幌市生れ。屯田兵の子孫。

北海道大学文学部卒業、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。中国哲学専攻。

学部在学時、北大文芸部部長(第三代)、同人誌『春楡』発行人。

日本中国学会、宮沢賢治学会、全国漢文教育学会、北海道中国哲学会等に所属。

主著は、『論語の思想史』(汲古書院・共著)、『荘子の中の孔子』(響文社)、

『宮沢賢治 イーハトーブ札幌駅』(響文社)。

平成 20～29 年(第 41～50 回)、小熊秀雄賞選考委員。平成 21～26 年、旭川井上靖記念館運営協議会委員(平成 24～26 年会長)、同館・文学講座にて井上靖作品に関する講演(平成 19 年～)。三浦綾子文学賞(平成 26 年)一次選考員の一人。

平成 28 年(第 58 号)から『旭川市民文芸』(旭川文化団体協議会)詩部門の選考を担当。

### 井上靖記念館での文学講座 (平成 24 年以降)

平成 24 年 「一枚の絵」の中の父母一子としての井上靖

平成 25 年 井上靖『孔子』と『論語』一孔子と弟子たちとのつながり

平成 26 年 『ある偽作家の生涯』を読む一人間や運命に対する井上靖のものの見方について

平成 27 年 井上作品と中島敦『山月記』

平成 28 年 井上靖の最後の短篇集『石濤』から二編一井上文学、老境の対話

平成 29 年 井上靖における、生きることと歴史—短編「生きる」から

平成 30 年 小説「結婚記念日」について—井上靖短編集『愛』から